

簡単・コンパクト
ウイルスも情報漏えいもブロック!

企業のセキュリティを1台で守る ネットワークを見張る赤い箱 WatchGuard XTM



経営者必見! 実は危ないセキュリティリスクのおハナシ

TOPICS 不正アクセスは前年より倍増! 中小企業が狙われている?

経済的利益を狙う 不正アクセスが急増中!

インターネットサービス事業者でのユーザー情報漏えいやSNSでの不正ログイン事件が報道を賑わすなど、ますます身近な脅威になりつつある不正アクセス問題。件数が急増しているのに加えて目的も変化しつつあり、単なるいたずらや嫌がらせではなく、不正送金や商品の不正購入など経済的利益を狙ったケースが増えてきています。

中小企業も危ない! 「標的型攻撃」の怖さ

最近増えているのが、特定の企業を狙って情報を抜き取る「標的型攻撃」です。通常の業務メールと区別がつかないよう巧妙化されたメール攻撃や、ウイルス対策ソフトで検出されない専用プログラムの使用など、発見されにくいのが問題。政府機関や大企業への攻撃の足掛かりに、その取引先である中小企業が狙われるケースも増えています。

不正アクセス行為の発生状況

不正アクセス行為後の行為	2011年	2012年	2013年
インターネットバンキングの不正送金	188件	95件	1,325件
インターネットショッピングの不正購入	172件	223件	911件
オンラインゲーム、コミュニティサイトの不正操作	358件	662件	379件
ホームページの改ざん・消去	28件	42件	107件
情報の不正入手	74件	99件	92件
インターネットオークションの不正操作	22件	29件	36件
不正ファイルの設置	4件	1件	20件
その他	3件	100件	81件



出典:内閣府情報セキュリティセンター(NISC)「サイバーセキュリティ政策に係る年次報告(2013年度)」

CASE あなたの会社にも!? 中小企業のセキュリティー事故

対策ソフトを使っているのに ウイルスが侵入?!

ある部署のPCが極端に遅くなり、調べてみるとウイルス感染が発覚。駆除完了まで業務に著しく支障が出た。ウイルス対策ソフトは使っていたが、ある社員が自分のPCで古いバージョンのアプリケーションを使っていて、アプリの脆弱性を利用したウイルスが侵入、対策ソフトの動きを止めて広まってしまったらしい。

こまめなアプリケーションの更新はセキュリティーの常識。でも、実行しない社員がいたら?

流行りの「標的型攻撃」に 遭った!?

人事担当者にメールでの問い合わせがあり、パスワードをかけた履歴書が添付されていたが、パスワードを入力して開いたらスパイウェアだった。暗号化されていたためウイルス対策ソフトが検出できなかった上に、問い合わせ自体に怪しいところもなく、ごく普通の対応としてファイルを開いてしまったのが原因だ。

添付ファイルの危険性を検出したいが暗号化されていると対策ソフトもお手上げ? 巧妙な手口に対抗するには?

ネットバンキングで 不正送金が発生!?

送金担当者にはフィッシングサイトの知識があり、日頃から正規サイトであること確認しつつ利用していたが、それでも不正送金が発生。実は、知らないうちに別の不正サイトでウイルスに感染、ネットバンキング(正規サイト)にアクセスするとIDやパスワードが抜き取られる状態になっていた。

不正なWEBサイトへのアクセスをブロックしたい。必要なのは何?

複合機から 情報が流出!?

複合機を使ってスキャンした機密書類やFAXのアドレス帳情報が外部から見られていたことが発覚。管理画面も見られてしまい、社内のネットワーク構造が知られてしまった。メンテナンス用にネットワークに接続しているため、外部からのアクセスが可能になっていたのが原因らしい。

複合機にもファイアウォールの導入が必要な時代。でもPCと違ってやり方が分からない!

ネットワークを見張る赤い箱「WatchGuard XTM」なら、 中小企業が抱えるセキュリティーリスクを1台で解決します

数名から広く対応可能なラインナップ

「WatchGuard XTM」では、接続PC台数や動作速度などの異なるさまざまなスペックの機器をラインナップ。SOHOサイズの小規模オフィスや支店から数千名の大企業まで、ネットワーク環境やご予算に合わせて幅広いシステムをご提案できます。障害発生時に対応できる冗長構成や通信負荷を均等化するロードバランシングにも対応可能です。

